

## 第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	羅臼町
重点施策名	1 基幹産業の付加価値向上に向けた基盤の整備(水産業)

<b>1 目指す目標(長期目標)</b>
水産物の安定供給の確保及び沿岸漁業の健全な発展を図るため、引き続き沿岸資源の増大と適切な漁場管理を推進する。水産物の需要拡大と付加価値向上を図る。

2 目標達成に必要な対象群の変化内容		
番号	変化や働きかけを行う対象群	必要な変化(維持する内容)
1	沿岸の水産資源	種苗放流による水産資源の維持安定 漁場整備・有害生物駆除による水産資源の維持安定
2	町内の漁港	静穏度や係船岸確保のための整備 機能維持のため老朽化した施設の更新
3	町内の海岸	防災及び減災、生命財産の保護のため海岸保全施設の整備及び維持補修
4	町外の輸送路	高速化及び冬期障害を防止する
5	道内及び道外への消費者	羅臼町の水産物のPR等により知名度を高め、販売量を増加させる

3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)				
番号	実施する内容	実施主体	実施期間	実施による到達レベル
1	沿岸の水産資源の増大対策のため、有害生物や雑海藻の駆除、種苗放流を行う	国・道 町・漁協	H25～	資源の維持増大 (平成21～23年の平均生産量)
2	漁港の機能整備	国・道 町	H25～	既実施箇所の早期完成 未実施箇所の早期着手
3	建設海岸、海岸保全施設の整備	国・道 町	H25～	既実施箇所の早期完成 未実施箇所の早期着手
4	幹線道路の整備	国・道 町	H25～	既実施箇所の早期完成 未実施箇所の早期着手
5	水産物の道外への販売促進	町・漁協他	H25～	羅臼産水産物の知名度向上 水産物出荷額の増加 (H20～22年平均出荷額)
6				
7				
8				

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	羅臼町
重 点 施 策 名	1 基幹産業の付加価値向上に向けた基盤の整備(水産業)

1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識		
内部環境 (市町及び 地域の関係 者の経営資 源)	強み	国内でも屈指の豊富で多様な水産資源、世界自然遺産「知床」、ブランドの知名度、海洋深層水
	弱み	北海道の東に位置し大消費地から離れている立地条件、国道334号(知床横断道路)の冬期通行止めによる輸送路の安定的な確保
外部環境 (市町を取り 巻く環境)	機会	国内における道産品のブランドイメージの定着 消費者の「安全・安心」への需要
	脅威	原油価格の高騰、輸入水産物の増加

2 参考とする指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業生産量(ウニ:112t、コンブ:462t、ホタテ:85t、エビ:6t H21~23平均)</li> <li>・海岸保全施設整備延長:H25年310m</li> <li>・道路整備延長             <ul style="list-style-type: none"> <li>地域高規格道路釧路中標津道路=計画区間100kmのうち供用区間18km(H27年度末)</li> <li>地域高規格道路根室中標津道路=計画区間40kmのうち 供用区間8km(H27年度末)</li> </ul> </li> <li>・漁業生産額:H21~23年平均13,144,333千円</li> <li>・水産物出荷額:H20~22年平均1,597,389万円(工業製造品出荷額)</li> </ul>	

3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容	
補助金または負担金の支出 販売促進活動への参加	